



HAC利尻島遊覧飛行

議会だより



定例会 3月会議

【主な記事】

- 令和5年度予算審議 …………… 2～10
- 行政報告 …………… 11
- 委員会レポート、議会日誌、編集後記 …… 12

令和5年5月

NO 199

令和5年度総予算額

(一般会計・各特別会計)

73億7,693万円を可決

【歳出】一般会計目的別予算の内訳

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
議会費	4,530万円	△ 8万円	△ 0.2%
総務費	7億7,007万円	8,460万円	12.3%
民生費	6億7,654万円	1億3,941万円	26.0%
衛生費	7億7,972万円	4億2,912万円	122.4%
労働費	9万円	0円	1.2%
農林水産業費	2億1,444万円	△ 224万円	△ 1.0%
商工費	2億1,884万円	2,772万円	14.5%
土木費	9億6,709万円	1,409万円	1.5%
消防費	1億9,361万円	△ 4,079万円	△ 17.4%
教育費	2億5,163万円	257万円	1.0%
地方創生費	2,062万円	162万円	8.5%
公債費ほか	11億0,356万円	2,498万円	27.5%
歳出合計	52億4,150万円	6億8,100万円	14.9%

【歳入】一般会計項目(款)別予算の内訳

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
町税	2億7,950万円	△ 309万円	△ 1.1%
地方譲与税	2,411万円	0円	0.0%
地方消費税交付金	7,000万円	0円	0.0%
地方交付税	22億6,500万円	800万円	0.4%
分担金及び負担金	1,829万円	228万円	14.2%
使用料及び手数料	1億1,114万円	38万円	0.3%
国庫支出金	1億3,692万円	△ 2,210万円	△ 13.9%
道支出金	4億6,803万円	2,182万円	4.9%
財産収入	2,312万円	88万円	0.4%
寄付金	4億5,000万円	1億円	28.6%
繰入金	4億7,552万円	6,970万円	0.2%
繰越金	100万円	0円	0.0%
諸収入	1億0,417万円	△ 184万円	△ 0.2%
町債	8億1,010万円	5億0,410万円	164.7%
その他	460万円	0円	0.0%
歳入合計	52億4,150万円	6億8,100万円	14.9%

令和5年定例会3月会議は、3月8日～10日までの3日間開催され、町政執行方針、教育行政執行方針の表明のほか、令和4年度各会計補正予算、令和5年度各会計予算、条例改正などを慎重に審議し、いずれも原案通り可決されました。

令和4年度各会計補正予算

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計(第8号)	5,363,512千円	225,373千円	5,588,885千円
簡易水道事業特別会計(第1号)	147,460千円	△ 44,538千円	102,922千円
下水道事業特別会計(第2号)	399,644千円	△ 30,677千円	368,967千円
港湾整備事業特別会計(第1号)	64,563千円	2,464千円	67,027千円
温泉事業特別会計(第2号)	130,779千円	2,790千円	133,569千円
国民健康保険事業特別会計(第1号)	386,685千円	9,171千円	395,856千円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	51,552千円	△ 9,441千円	42,111千円
介護保険事業特別会計(第2号)	345,591千円	△ 34,730千円	310,861千円
介護サービス特別会計(第1号)	538,409千円	△ 27,460千円	510,949千円
歯科施設特別会計(第2号)	48,487千円	287千円	48,774千円
国民健康保険施設特別会計(第2号)	96,277千円	△ 12,198千円	84,079千円

令和5年度予算審議(要約)

総務費

ゼロカーボンの事業内容・委託業者について

目標を設定し、具体的な取り組みについて計画を立てる

Q大森議員 ゼロカーボンということで、温室効果ガス排出量を減らし、ゆくゆくゼロにするという取組みだと思いますが、光合成でCO2を吸収する森林などの保全、自然の風力、太陽光を利用する再生可能エネルギーの普及拡大などいろいろな方法があると思われませんが、この事業内容について説明願います。

A企画政策課長 まずこの計画作成の予算がありまして、趣旨としては、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地域の自然的、社会的条件に応じて温室効果ガスの排出抑制等を推進するための総合的な計画でありまして、温室効果ガス排出削減量の目標を設定し、目標達成のために実施する具体的な取り組みについて定める計画としております。令和3年の同法の改正を受けまして、策定については今まで指定都市等のみだったものが、市町村についても努力義務化され、このたびのゼロカーボンシティ宣言に合わせて策定するものであります。様々な取り組みがありますけども、ゼロカーボンシティ宣言の中に二酸化炭素排出量実質ゼロという言葉があります。この実質というのが、社会生活を営んでいる以上、二酸化炭素の排出というのはゼロにはなりません。再エネ、LED化、EV車両の導入を進めていくなど、企業の人とも連携していきながら、削減していく取り組みをこの計画に盛り込み、削減目標を立て進めていきます。先ほどのCO2の吸収については森林ではグリーンカー

ボンと言われるものが主流になっていまして、最近はずりカーボンという言葉も出てきており、北海道や国でも力を入れていくという話をしていました。このブルーカーボンは海藻がCO2をどれぐらい吸収するのかを推計していく取り組みになっていまして、町もブランドの利尻昆布に象徴されるように海面の海藻が豊富にありますので、このブルーカーボンの取り組みを進めていき、計画を立てていきたいと考えています。業者の委託については、入札することになりますので、指名願が上がつている業者から適切な業者を選定し、入札をかけていくことになるかと思えます。

Q大森議員 利尻島は山や森林、海、昆布など多くの資源があります。今、国が目指しているものに一緒に寄り添いながら、良い方向に進めばと願っております。



役場庁舎で試験運用中のEV車両

総務費

職場PR動画作成の業務内容は、利尻島の魅力が伝わる職場PR動画を作成し、ターゲット層に発信する

Q岡本議員 職場PR動画作成業務委託料について600万円見えています。これはどのような職場のPRをどのようにしていくものなのか教えていただきたい。

A企画政策課長 特に介護施設の現場などは慢性的な職員不足に陥っております。町のホームページやお知らせ利尻富士、またハローワークなど求人情報により募集を行っていますが、給与面での引き上げにも限界があります。特に北方離島という環境では条件闘争では敵わないというのが厳しい現実だと思います。何か視点を変えて取り組まなければこの現状は打破出来ないということから、利尻島の魅力を伝えながら、どのような職場で働くことになるのかをPRするための動画を作成し、地方での仕事を考えている人、金銭面ではなく自然豊かな環境で働きたいと考えている人をターゲットに発信していくための動画を作成したいという中身であります。単なる動画の作成だけでなく、それを必要としている人に届かなければ意味がないので、どのような市場にこの動画を発信するのか、そのマネジメントの費用も、この600万の中に入っています。今のところ職場については、役場や、秀峰園、老健、空港、消防などを想定していますが、保育所や、保健センター等の現場も含めまして、改めて検討していきたいと考えております。

総務費

地域おこし協力隊の現況について

現在は3名で活動中であり、新たに4名の募集をしている

Q岡本議員 地域おこし協力隊事業について以前もお聞きしましたが、どのような活動をしていて現在何名いるのかお聞きします。

A企画政策課長 地域おこし協力隊の状況ですが、この2月で、1名は任期が終了しまして、今現在は3名で活動しています。もう1名もこの3月に任期終了となりますので、今回の予算については2名分の予算を計上しております。その2名の令和5年度からの活動ということでは、1人は移住定住専門員ということで、ワーケーションの運営や移住定住のポータルサイトの運営を中心に活動していただいています。もう1人が水産振興担当ということで、孵化場が稼働している時期は、孵化場業務を行い、孵化場業務が終わったら潜水や、水産の方をお手伝いしながら業務に従事している2名体制となっております。今は観光の方でも3名。鬼脇支所でもまちづくり協議会と協力しながら、新規の活性化に努めていきたいということで1名の合計4名を募集している状況であります。

Q岡本議員 地域おこし協力隊については利尻町の方でも、どのような活動をしているのか分からない、という意見が町民の方から出ています。例えば資料に書いてあります特殊時間外勤務は何が特殊なのか、見えないところですけども、はっきり明示し、町民の中に溶け込んだ協力隊であってほしいと思います。

総務費

二石海岸公園の今後の整備予定は

地番等の基本調査を実施し、今後の整備について検討していく

Q平田議員 二石海岸公園整備に関わるものですが、今回降りていく道をつけるということで、今後この一帯を公園として整備していくようなお考えがあるのかご説明願います。

A鬼脇支所長 今年度については、展望台入口通路の整備と展望台の整地、灯台周辺の土地所有者や地番、地積の基本調査を実施し、公園を今後どのように活用していくか検討するための予算を計上しております。今後については、隣にあります陸揚庫と灯台、展望広場を活用しながら、どのように公園として整備していくのか、鬼脇まちづくり推進協議会など地域住民と話し合いながら整備を進めて参ります。



今後整備予定の二石海岸公園

総務費

旅番屋を利用した定住事業の現況とアフターフォローについて

利用者数は微増であり課題が多い

Q上田議員 定住促進事業ですが昨年同様の旅番屋を利用した事業とのことですが、その中で、4年度の利用状況、そして利用者の定住への動き、効果はあったのか。そして他の宿泊施設より低額で泊まれると思いますか。利用者との観光客との違いはどう判断しているのか。そして最後に定住に向けたアフターフォローはどのようにしているのかお聞き致します。

A企画政策課長 ワーケーションについてはまずは3年間実施してみようということで実施しております。令和5年度が3年目となり、同様に旅番屋を借り上げますのでその予算を計上しております。ただ令和4年度は2LDK1室と単身用2室の計3室で運用していました。令和5年度は2LDK1室で運用し、宿泊料も1泊1,000円値上げし実施したいと考えております。令和3年度は2LDK1室でワーケーションを開始したところ、無償ということもあり、稼働率が8割以上と好評で予約できなかつた方も多数出ました。令和4年度については規模を拡大し、2LDK1室と、単身用2室の計3室で、有料で実施したところ、稼働率としては2LDKが3割程度、単身用が4割程度ともう1室が2割程度で稼働率的には減少し、利用件数も令和3年度の29件から34件と増えてはいますが、部屋を増やした割には微増に留まっています。定住への効果につきましては、今のところこの事業を機に定住を決めた方はいませんが、関係人口の拡大ということを目標に取り組んでおります。そういう点では4年度はリピーターが2件あり、将来的な移住先として考えられるとのアンケート内容も数件あることが

Q高坂議員 新型コロナワクチンについて6回目の接種をいつ頃予定しているのかお伺いします。

衛生費

厚生労働省の説明を受け、日程を調整

新型コロナウィルスワクチン 6回目接種について

ら、まずは関係人口を拡大し、その中で、移住を決める方が出てくることを望んでいます。利用者と観光客との違いですが、ワーケーションについては、1週間以上、2週間未満の滞在を条件としていることから、利用を許可した時点で、私達の扱いは観光客ということではなく、長期滞在による利尻島体験者ということで捉えております。たとえ観光目的でも長期滞在し、ワーケーションという言葉はその名の通りワークとバケーションの造語でありますから、雄大な自然や地域の方と触れ合い、商店も利用しながら利尻島を大いに楽しんでもらえれば意義があることだと考えているところです。最後に定住に向けたアフターフォローについては、ワーケーションで移住に興味を持っていただいた方を含め、全ての方に対し地域おこし協力が電話、メール、オンラインでの移住対応をしております。ただ町の移住専用ポータルサイトで雇用情報や住宅情報を発信していますが、残念ながら空き家や住宅の情報が少ないことから、肝心の衣食住の住の部分の十分なフォローが出来ていないという現状があります。またポータルサイトの中では女性定住奨励金や町民になってからの出産子育て関係の支援金の情報を載せていますが、直接的な移住支援制度というものがないところもフォローとしては足りない部分と考えております。国の移住支援制度もありますが、定住できなかつた場合の返還など、制度化するにはもう少し考えることが必要だと感じています。

Q平田議員 昨今、医療に関わる人材確保ではこの市町村も大変な思いをされている中で、こういった制度があり、実績も出ているということでは、貸付金を利用し、島に帰ってきていただけたらと思いますので、今後も継

A保健センター所長 6回目の接種時期ですが、来年度の方針につきましては厚生労働省が3月7日に分科会を開催し最終決定がなされ、3月9日午後から厚生労働省より各自自治体に向けてオンラインの説明会が現在実施されているところです。それを受けまして詳細を確認し4月以降の接種体制については考えてまいりたいと思っておりますが、接種時期は5月8日以降となりますので、また接種間隔等を確認しながら進めてまいりたいと考えております。

衛生費

医療技術者修学資金貸付金の実績は
保健師、老健職員で免除した
ケースあり

Q平田議員 医療技術者修学資金貸付金の今までの利用状況と、何人の方が帰島して医療関係の仕事に従事されているのか実績を教えてください。

A福祉課長 町に勤めていただいて償還を免除したケースは過去に保健師であります。その他、看護師、理学療法士、歯科衛生士がございしますが、当時、町での職員の採用と卒業後の就職先というのがマッチしないこともありまして、都会の方の現場で活躍されていることと思います。現在制度を利用し、利尻島老人保健施設に勤めている方が1名おります。この方がモデルケースになりますが、老健へ勤め、償還免除となり制度が役に立つたことになるとかと思えます。

Q高坂議員 漁業施設整備事業補助金で、今年実施されます養殖施設、この新規2基分の規模、また設置箇所に

農林水産費

ホタテ養殖施設の整備、
ナマコ幼稚仔保育場投石事業を実施

漁業施設整備事業補助金の 内容について

Q岡本議員 工事期間が大体8ヶ月から9ヶ月ぐらいしかないと思います。突貫工事になるようなところもあると思いますけども。早期の発注を目指し、令和6年度から供用開始できるよう願います。

衛生費

葬苑建設の今後の工程について
設計費用・工期を緻密に積算し、
入札予定

Q岡本議員 葬苑建設事業について令和6年度から供用開始ということでしたが、これだけの工事を大体1年足らずでやるということで、いつ頃発注し、工事が行われるのかお伺いします。

A福祉課長 昨今、現場の動きや職人さんの手配、資材の納入が心配なところではございます。設計段階では、その辺りも緻密に積算していただいて、設計、工期も定めております。4月早々にまた設計費用の単価の置き換えなどを加味しまして発注かけたいと思いい、4月末から5月上旬に入札を出来ればと考えております。

続いてほしいと考えております。

ついてお伺いいたします。

A産業振興課長 漁業施設整備事業補助金、1, 166万7千円の中身については、ホタテ養殖の施設整備33分の予算計上しております。その分が886万7千円残り300万円につきましては、鬼脇港区泊地内のナマコの幼稚子保育場の投石事業を実施するための予算として300万、合わせて1, 166万7千円の予算計上となっております。

農林水産費

特定有人国境離島漁村支援事業の支援内容について

漁船の整備費や燃料費など事業拡大、雇用創出に必要な費用の支援を行う

Q高坂議員 特定有人国境離島漁村支援事業はどのような内容でまたどのような支援を行っているのか。議会資料では、新規起業者1名、継続支援6名となっておりますが、令和5年度漁業後継者の4名も新規起業者1名に含まれているのか説明願います。

A産業振興課長 利尻島は離島地域の中でも、平成28年に国境離島法というものが制定された中で特定有人国境離島地域の指定を受けた離島でございます。特定有人国境離島地域は、特に離島の中でも遠隔であるなど、不利な地域であるということから雇用機会の拡充への適切な配慮が求められる、離島地域の地域社会の維持を図る必要があります。そうした中で、水産庁の制度であります本交付金の中では、水産物等の地域資源を活用した取り組みを支援し雇用機会の拡充により、特定有人国境離島地域の漁業集落の維持を図っていくための交付金として支援を行っているところです。具体的には、漁業集落から

同意を得た漁業者が行う雇用創出の取り組みとして、起業もしくは事業拡大を行う者を対象としています。継続の6名は養殖昆布を実施することでの起業が1名事業拡大が1名、そして漁船漁業は起業という形で蛸のイサリ漁業やヒラメ釣り漁業に従事するために4名。それらの漁船の整備や燃料費などそれらのものが支援対象となっております。今回新規の1件につきましては、駕泊地区で和船を購入し、蛸の空釣り縄漁業に従事するというところで、自らを雇っての起業ということで、雇用創出の取り組みとなりまして、1名を追加した予算計上となっております。

Q高坂議員(再質疑) この事業の限度額、継続支援期間、支援の対象物について説明願います。

A産業振興課長 限度額は1, 200万で、期間は5年以内となっております。支援の対象物でございますが、雇用創出に係る資材購入、燃料費などそれらのものが該当となります。漁業者それぞれで対象となっているものは違いますが、漁船漁業を始める方であれば、漁船の取得費なども対象となっております。

Q高坂議員(再々質疑) この補助率は国と道と町とで自己負担はありますか。

A産業振興課長 補助率は、国2分の1、道と町が4分の1で漁業者の自己負担は限度額以内であればございません。

商工費

中小企業振興対策貸付金の内容について

町内中小企業へ融資枠を設定し、融資を実行している

Q高坂議員 中小企業振興対策貸付金について、どのような貸付内容なのか説明願います。

A産業振興課長 本町では利尻富士町中小企業融資条例という条例がございます、それに基づきまして町内の中小企業に融資を実施しております。その融資に当たりましては、運用基金としまして、6, 000万円を町の指定する金融機関であります稚内信用金庫利尻富士支店に預託しております。その上で融資枠を設定し、融資を実施しております。資金につきましては中小企業の運転資金、設備資金でございます。

Q高坂議員(再質疑) 貸付金額の限度額と貸付期間はありますか。

A産業振興課長 運転資金につきましては、500万円以内で貸付期間は3年以内となっております。設備資金につきましては1, 000万円以内で7年以内となっております。ちなみに利率については、1. 875%となっております。

商工費

利子補給金の減額理由について

利子補給期間の終了による減額

Q大森議員 利尻富士町新型コロナウイルス感染症緊急

対策利子補給で10万円とあります。去年は前の年の実績で100万円ということでしたが、今回は100万円から10分の1の額になったということは、補給金を受ける事業者の減少又は金額の減少と捉えていいのでしょうか。

A産業振興課長 コロナが令和2年に拡大した中で、貸付制度を作りまして、貸付期間は利子補給期間を3年間で限定して実施しております。そうした中で、この令和5年に補給期間が終了するという事で積算し、10万円という額になっております。

商工費

オタトマリ沼周辺のススキについて
自然を守りながら慎重に対応する

Q上田議員 観光施設運営事業の中で、オタトマリ沼を周回する際、時期によっては枝や葉が伸びてきて観光客の方が周回を途中で止められるという話を聞きます。また秋頃になりますと、栈橋の先にススキが伸びてきて山や沼を撮影される際、写真の障害になって残念だという話も聞きます。もちろん駐車場周辺を含め草刈りなど丁寧に行っていたらいいと思いますが、そちらの方も適宜手入れしていただくことは可能でしょうか。

A産業振興課長 オタトマリ沼は非常に大事な観光のポイントでございます。町としても滞在型観光を仕掛ける上で利尻クエストのポイントをおタトマリ沼の奥側にQRコードを置いて周っていたらいいように進めているところなんです。そうしたご意見があるのであれば、より一層万全を期した維持管理に取り組み、実施していきたいと思っております。もう一点についてはオタトマリ沼周辺は自然公園法の中なので、第2種特別地域という区域の中に指

定されております。草刈り自体は規制されるものではないですが、ただ国立公園という中で、優れた自然のままの修景地を大事にする場所でもございます。観光客も踏み入れない場所を人の手によって刈り込むことが、果たしてそれが観光客にとって喜ばれることなのかと考えたときに慎重な対応が必要であると思っておりますので、今後とも注意しながら対応したいと考えております。

Q上田議員(再質疑) 観光客のほとんどが寄るような島の重要なスポットですのでそこがっかりさせないよう、今後も丁寧に管理していただけたらと思います。

商工費

フェリー積載自動車運賃の
助成について

検討はまだしていない

Q大森議員 フェリーの積載自動車運賃の半額助成について、限られた財源ですが、1世帯1回限りなど予算を下げてでも年内に再度実施される可能性はありますか。

A産業振興課長 現状はまだ何も決まっておりますので、検討も何もしていない状態ということでご理解いただければと思います。

商工費

50周年プレイベントについて
具体的な内容は
着地型観光イベントを実施し
観客を呼び込む

Q平田議員 国立公園指定50周年プレイベント開催費ということ予算計上されていますが、具体的に何をやる

予定なのか教えていただければと思います。また令和6年が50周年ということで、その50周年も何か考えているのかも教えていただければと思います。

A産業振興課長 国立公園につきましては、昭和49年の9月20日指定されまして、10年刻みで、利尻富士町に限らず、北宗谷関係自治体と一緒に記念事業をやってきた経過がございます。それは令和6年に向けて整理もしていかなければならないですが、50周年に向けて前年の内から、島民や、観光客に周知とPRをし、少しでも着地型観光イベント等を実施することで、観光客を呼び込みたいと考えています。8月の下旬あたりを目指し、これから関係団体等とも協議しながら進めて参ります。

Q平田議員 今後、脱コロナということで、落ち込んだ観光客入り込み数を少しでも回復できるように、様々な中身を検討し、観光客誘致に繋げていただければと思います。

土木費

利尻空港のトイレ設置について
実現に向け、
これからも強く要望します

Q伊藤議員 町長は仕事で利尻空港の使用頻度は多いと思えますし、丘珠から利尻に到着して到着ロビーにトイレがないのはご存知であると思えます。到着ロビーのターミナルで手荷物を受け取る場所、そこにトイレがないということで、是非ともトイレの設置を北海道に陳情、要望していただきたいと思います。

A町長 空港ターミナルは北海道の施設でございますので、管理委託を受けている以上はトイレ等の問題があるのであれば、管理を委託されている町側も北海道に対し

て物申すべき権限は持っています。トイレの関係では昨年も特にANA便が千歳から時間もかかりますし、その先の乗り継ぎ等の時間も、トイレがないということでは大変だという話を昨年何回も空港管理事務所の方からも聞いておりました、北海道の関係する職員も、昨年は何回も空港の方に視察に来ていました。その中でトイレの話もしてありますし、10月に私も、道庁の方に出向きトイレの件について早速要望してまいりました。北海道の方でもこういう状況だというのは把握しております、いつになるのか時期的なことは言えませんが、トイレの問題については理解しているということで答弁させていただいております。今週も町で議会があるのでそういう質疑も出るだろうという予測のもと、北海道の方にも再度連絡をしました。特に今知事選挙の関係で、道の予算等も骨格予算というのもありはつきりとは言えませんが、承知はしておりますという答弁でしたので、今年度4月に早速、道庁の方に出向きトイレのことを強く要望していきたく思っております。私も利尻空港に到着したときはトイレがないので行くことないですが、丘珠に到着したときは、やはり何回か使用することもあるので、いくら50分程度の短時間の飛行時間といいますが、特に高齢者の方々もたくさん乗っている関係もありますので、強くトイレの設置については要望してまいります。

Q伊藤議員(再質疑) HACの約48人の満席で来られたとして、ターミナルで荷物をもらうには時間がかかります。セキュリティの関係で逆流禁止ですから、我慢するしかありません。我慢しなければ出てトイレ行くしかないですけども、そういう思いをしている方もいますので、今ひとつ町長が答弁されたように強く要望をよろしく願います。

A町長 荷物を受け取る場所から一旦出てしまうと、再度入れないので、これから管理事務所の職員とも協議に

なりますが、職員に手荷物の引き換えの番号の紙を預かって出してもらい、本人はトイレに行き荷物は職員が後で渡すというようなことも考えていかなければ、今すぐトイレが出来るわけではないので、そのように対応していくことも考えております。

教育費

体育館の暖房設備について

学校体育館の利用も視野に入れ検討

Q平田議員 総合体育館備品購入費でジェットヒーターの購入とのことですが、総合体育館のボイラーが故障しているというお話はお聞きしていました。この冬も急激な面でジェットヒーターを借りて焚いていたということも聞いていますが、ジェットヒーターを焚くことによつて煤が出て、運動するには健康面で問題があるのではないかと思えます。今後もこういった形でジェットヒーターを使用し凌いでいくのかお聞きしたいです。

A教育委員会次長 ご指摘の通り総合体育館の方でこの冬に、アリーナを温めていたボイラーの配管自体が故障しまして業者さんの方にも確認をしてもらいましたが、高額になるといことでした。この冬についてはジェットヒーターも焚いていますが広い施設でなかなか難しいということ、各団体、少年団等については篤泊中学校の体育館を開放という形でこの冬についてはそのようにご利用いただいております。ジェットヒーターについては、総合体育館の柔剣道場、秀峰翔太鼓が、活動されている場所にあります、もう古くなり、故障も続いているので新しいヒーターも含めて予算計上しております。アリーナの方のボイラーは修繕が高額だということですが、冬期間はそういった暖房等は不要だと思えますが、冬期間

は学校体育館の利用も検討していきたいと考えています。

Q平田議員 中学校を開放して体育館を利用しているということですが、現状個人での利用が出来ないというように聞いていましたので、中学校の体育館を開放して使っていくことで考えるのであれば、どなたでも利用できるような体制も整えていかなければならないと思いますので、今後その辺も含めてご検討いただければと思います。

教育費

旧鬼脇中学校のグラウンド活用について

鬼脇の住民、まちづくり協議会と検討していきたい

Q上田議員 旧鬼脇中学校グラウンドについてですが、閉校してから特に利用されてないように見えます。今後の活用の計画などありましたら教えてください。

A教育委員会次長 併置校が平成30年に供用開始されましたからグラウンドの方も、元々あった旭ヶ丘球場の方に併設されまして、学校教育活動と、野球少年団で使用しております。旧鬼中のグラウンドの方は活用されていませんが、今後の活用の見込みについてこれまで検討されていなかったもので、今後どのような利用があるのか、住民、鬼脇のまちづくり協議会と考えていこうと思えます。

Q上田議員 道々沿いで広い土地ですので利用価値は大いにあるかと思えます。是非とも町の発展に寄与するような利用計画を作っていただけならと思えます。

総括質疑

●町長・教育長の執行方針に対する主な質疑

■佐々木議員 観光客から、百選に選ばれている利尻山、そして自然、海の幸を食べて満足して帰りたいというお話をよくお聞きしますが、なかなかウニを食べて帰ることが出来ない、買うこともできない、またどこにも売っていないというのが今の利尻の現状だと思います。今、観光でいろいろなPRをしながら、町もお金をかけていく中で、来たお客さんにウニを食べさせられない、食べてもらえないということが、果たしてこれでいいものなのか。町長もいろいろなことで考えていると思いますので、もし何かお考えがあれば、この場でお聞きしたいと思います。

【町長】ウニを食べさせたいという話からですが、平成の24年頃までは30トンぐらいの水揚げが、平成28年に12トンとなりまして、当時、町長2期目でこれは資源が枯渇していくだろうという危機感を持って、組合長方とお話し、養殖の方にも力を入れるため、ウニの養殖の先進地であります浜中町の散布に視察に行きました。なかなかその漁業協同組合も確立するまでに長期間データを集めるなど苦労したお話も聞きまして、利尻の方でもやる気さえあれば何とか出来るだろうと感じて帰ってきました。鬼脇支署の青年部も、一緒に視察にいき、3年間ぐらい町の方も養殖の資材等の購入にあたって全面的に補助しながら、ある程度順調にきているのではとと思っていましたが死滅してしまいました。今度は鴛泊の方で若者が中心となり、漁協にも手伝ってもらいながら取組んでいまして、今は暖かくなり、養殖籠の中を調査しようという段階まで来ております。水産指導所にも協力してもらいキタムラサキウニの水槽の飼育試験を1年間懸

けて行い、その結果では、地下水水を使っていれば水温が一定になり、コストも低く養殖の効率としては有効だという指導所の判断がありまして、そのことをもとに、進めていくべきだろうと思っております。観光業者からもキロ単価が高いため、食事に出すのが厳しいというお話もここ数年聞いていまして、安定したウニの供給をしなければと強く思っております。2月末に漁協の理事の方と町の理事者で観光とウニの在り方などについてお話しする機会があり、値段もある程度いいですし、水揚げは若干減っていますが、今後の資源に対する影響については今のところは資源もあるようなお話の中では、こちら側の求めと漁協側の今の判断というのは差があると感じております。本来であれば海中飼育が良いのかもしれないですが、そのような水温域のある海面が恐らく少ないので、やるとすれば地下水利用した飼育が良いのではと思っております。安定した値段で観光客や島に来てくれる来島者、地元の人にも提供するのが一番だと思っておりますので、これからも当然、漁協や指導所にも協力してもらい、私が町長をやっている内には、こういう飼育を試してみたいと考えておりますので、その時は一つ協力をお願いするかもしれません。育てる漁業ということで日本一のブランドである昆布、あるいはウニの価値観を高めると執行方針で謳っておりますので進めていきたいと思っております。

■佐々木議員(再質疑) 地下水水を使っているウニの移植、養殖あるいは専用池使っているウニを育てるということでは、私も大賛成です。鬼脇の状況を言えば、ノナの異常発生により、磯焼けが大変広がっており、去年からチェーン振りなど、いろいろな対策をして何とか昆布と海藻を増やそうと頑張っています。もし異常発生したノナを獲って間引きしながら、陸など別なところで育てることができれば、それを観光客に食べていただき、そして、ウニの身も入れればお金にもなりますので、一石三鳥なのでは

と思っております。そういうことを、組合をはじめ皆さんが理解してもらえれば、良い事業に繋がって欲しいと思います。またウニを食べた人が大変良いおもてなしをしていただいたということで、今度は家族や大勢の友達で来てくれる、あるいは地方納税に協力してくれる、などの良いお話にも段々繋がって来ると思いますので、ぜひ町長が考えているようなことで進めていただきたいと思っております。いくらでも協力しますし、若い人もいくらでも協力するということを聞いていますので、ぜひよろしくお願いたします。

【町長】先月、漁協の理事者側とお話したときも、ノナが多く、鴛泊地区でも沖にいるノナを陸に持ってくるようなお話は以前からよく聞いていました。チェーン振りをしたことよって海藻が生えてくれるようになり、漁業者も努力していくというお話でしたので、大変力強いと思っております。鬼脇地区は特に島外からの若い人が多いので、もしそのお手伝いを連携し、漁協にも協力してもらいながら、安定した収入が確保できるようにすれば、定住してくれる人も多くなると思っておりますので進めていきたいと思っております。

■上田議員 執行方針の中で、利尻高校生の通学支援の増額を図っていただけだとすることで、通わせている、または通わせる予定のご家庭にはありがたい内容かと思っております。それに絡めまして、宗谷バスの利尻高校での停車場を校舎の中まで移動、もしくは道路沿いでも雨風を凌げるバス停を設置することを要望できないでしょうか。現在バス停が校門を出たところであり、とりわけ荒天候時や冬場のバスの待つ間は体にも厳しいかと思っております。校庭の中までバスに入ってもらい、生徒が玄関で待つことができるようにするか、雨風雪を凌げるバス停を設置していただければ生徒もありがたいかと思っておりますが、宗谷バスの方に要望することはできないでしょうか。

【町長】屋根付きのバス停を、ということだと思いがすが。今まで高校側からやPTA、それから保護者から今のような質問、要望を受けたことは今までなかったかと思えます。私もどこにバス停があり、どのような状況で高校生がバスを待っているのか見たこともないですし、敷地内に入り、回って出てくれればそれが一番良い方法かと思えます。例えば校門の外にあるバス停の停車時間を長くしてもらい、必ず止まってもらい、何分がいいのか分からないですが、停車時間を長くしてもらい、とで、玄関で待っている子供たちが乗車しに行けるようにするようなども考えられると思います。もし要望をそのままバス会社に伝えるとしても、その前に高校側や保護者など組織があるところから、バス会社に話して中に入ってもらい、もしくは停車時間を長くするようになど、協議をしていただいた方が良いのではないかと思います。それでもどうしようもなかったとなれば、次の方法を考えなければと思いますが、今のところはの方が良いのではないと思っております。

■上田議員 まずは町というよりも学校や保護者が先に要望する方が良いという内容で理解しました。説明資料の中で高校進学予定者17名のうち7人が島外高校に進学を希望するということが、その後の生産年齢人口の減少にも関わってくると思います。通学支援はもろろんお子さんたちが安心安全に地元の高校に通っていただけるようにソフトハード両面で善処いただけたらと思います。

条例の制定及び一部改正等

□公の施設の指定管理者の指定について

施設名称 利尻富士町篤泊港漁船上架施設
利尻富士町篤泊港鬼脇港区漁船上架施設

本泊漁港漁船上架施設
指定管理者 利尻漁業協同組合代表理事組合長 白取 記夫
指定の期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日
【原案可決】

□町道路線の認定について
旭浜地区の道々の改良が終了したことから、旧道々であった路線を町道路線として認定 **【原案可決】**

□利尻富士町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

□利尻富士町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について

□利尻富士町情報公開条例の一部改正について
個人情報保護に関する法律の改正により、従来の個人情報保護法、行政機関個人情報保護法、独立行政法人等個人情報保護法の3本の法律を一本の法律に統合するとともに、当町においても、統合後の法律において、全国的に運用方法の共通ルールが法律により直接適用されることとなるため、新たに利尻富士町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定及び現行条例の一部改正 **【原案可決】**

□利尻富士町議会議員及び利尻富士町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
公職選挙法施行令の一部改正に伴う、各選挙運動費用に関する公費負担限度額の引き上げによる改正 **【原案可決】**

□利尻富士町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について

民法等の一部を改正する法律の一部の施行により、民法及び児童福祉法における懲戒権に関する規定が削除されることに伴い、特定教育・保育施設の管理者の懲戒権限の濫用を禁じた規定を削除する改正 **【原案可決】**

□利尻富士町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

国の各基準にバス送迎に当たつての安全管理の徹底に係る規定及び事業所等が策定する安全計画に係る規定が加えられることから所要の改正
民法等の一部を改正する法律の一部施行により、民法及び児童福祉法における懲戒権に関する規定が削除されることに伴い、家庭的保育事業者等の懲戒権限の濫用を禁じた規定を削除する改正 **【原案可決】**

□利尻富士町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

国の各基準にバス送迎に当たつての安全管理の徹底に係る規定及び事業所等が策定する安全計画に係る規定が加えられることから所要の改正 **【原案可決】**

□医療技術者等修学資金貸付条例の一部改正について
貸付対象者に救急救命士、保育士を追加する一部改正 **【原案可決】**

□利尻富士町国民健康保険条例の一部改正について
健康保険法施行令の一部改正に伴う、出産育児一時金の支給額の改正 **【原案可決】**

□鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更について
下水道の事業費を2,500万から2,800万円に変更 **【原案可決】**

行政報告

■利尻空港利用状況

	12月	1月	2月
JAL (HAC)	1,451人	1,399人	1,220人
搭乗率	56.0%	62.0%	56.5%
(前年同月比)	(388人)	(470人)	(565人)

■利尻空港利用状況について

12月から2月分までの利用状況は、3カ月間とも搭乗率は、前年を上回っております。利尻丘珠線の2便化計画であります。3月26日から10月29日までの夏ダイヤ期間中、4月の一部を除いて原則金曜日、土曜日、日曜日は午前1便、午後1便の2便体制となり、ゴールデンウィーク期間、お盆期間、祝日を含め2便化は合計102日間となりますので、高い乗車率を期待したいものであります。

■新型コロナウイルス感染症について

町内の感染状況は、年明け1月が1名、2月が9名、3月に入っても町民の方の感染確認がありました。昨年の9月からの国の感染患者全数把握の見直しにより、支援物資の申込等で知りえる情報であって公式な件数ではなく、必ずしも医療機関へ受診するのではなく、自宅にて療養している方もおられるかもしれませんので、正確な感染者数は把握しておりません。ワクチン接種ですが、対象年齢人口における平均接種率は90%を超えており、今後につきましては、国からの正式な通知があり次第対象者に周知してまいります。3月13日からはマスクの着用について個人の判断に委ねることを基本とすることが示され、また、5月8日からは感染症法の位置づけが2類から5類へ変更され、国の示す基本的対処方針や業種別ガイドラインは廃止となり、以降は自主的な感染対策が求められることになり、これに伴う政策、措置の見直しも国において検討されております。基本的感染対策は重要であり、町として自主的な感染対策は必要であり、町内各公共施設等も対応しなければなりません。それぞれ福祉施設、医療機関、学校、観光施設など対応が異なる場合もあると思っておりますが、予防の観点から今後も判断してまいります。

■ゼロカーボンシティ宣言について

この度、利尻町、礼文町と二酸化炭素排出量実質ゼロをめざし、下記のとおり共同宣言することとなりました。

地球温暖化による気候変動は、全世界共通の避けて通ることが出来ない喫緊の課題となっており、豪雨や猛暑といった異常気象による被害の増加、生態系の影響等は利尻島、礼文島にも出始めています。2018年に公表されたIPCC（機構変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「産業革命前から平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃以内に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要。」とされています。また、我が国においても、2020年10月に政府が「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。さらに、北海道においても、地域資源を最大限に活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。利尻島、礼文島は「利尻礼文サロベツ公園」内にあり、希少な高山植物や雄大な景観などが多数あります。来年の国立公園指定50年を目前に控え、改めてこの豊かな自然を子どもたちや未来へ引き継ぐためにも、私たち自身が先頭に立って温暖化対策に積極的に取り組むことが必要です。

このため、利尻町、利尻富士町・礼文町が一丸となって、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、「カーボンニュートラルに向けた取組」について、3町一体となって推進していくことをここに宣言します。



ZERO CARBON
HOKKAIDO

ゼロカーボンシティ共同宣言

～2050年 二酸化炭素排出量実質ゼロをめざして～

編集後記

コロナウイルス感染症の重症化リスクもかなり下火となり、今年の3月からはマスク着用が感染リスクの高い病院などを除き個人の判断に委ねられるなど、感染症への考え方もだいぶ様変わりしてきました。それに伴い、今年はいろいろな行事やイベントが行われ、また、観光客の来島者数も増加し、町に活気が戻るものと予想されます。

また、鳥インフルエンザの影響により、タマゴ価格の急騰など物価高騰の波は未だに収まっておりませんが、町民皆様におかれましては、健康に十分留意し改めて本年が飛躍の年になることを切に願っております。

広報・広聴常任委員会一同

議会に行こう!

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／佐々木 勝
副委員長／平田 徹
委員／岡本 晴樹 伊藤 信勝
上田光斗夢 高坂 敏夫
大森 智樹 戸嶋 郁夫
飯田 睦穂

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

議会日誌

- 2月8日 広報・広聴常任委員会
- 9日 全国離島振興市町村議会議長会理事会
令和4年度第2回定期総会（WEB会議）
- 3月1日 議会運営委員会
- 8日 定例会3月会議（～10日）
- 11日 利尻小学校・鬼脇中学校合同卒業式
- 13日 鴛泊中学校卒業式
- 14日 利尻郡学校給食組合議会
利尻郡清掃施設組合議会
- 16日 利尻礼文消防事務組合議会
利尻島国民健康保険病院組合議会
- 18日 鴛泊小学校卒業式
- 27日 全員協議会（一部事務組合予算説明）
- 4月5日 教職員着任式
- 6日 利尻小学校・鬼脇中学校合同入学式
鴛泊中学校入学式
- 7日 鴛泊小学校入学式
- 20日 利尻富士町港湾漁港審議会
- 28日 利尻富士町観光協会総会
- 5月2日 利尻郡清掃施設組合臨時会
- 14日 シベリア抑留慰霊碑地鎮祭
- 15日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）

委員会レポート

■広報・広聴常任委員会（2月8日）

議会だより利尻富士No.198の編集についての調査及び協議

議会議長あての文書は 直接議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、日程等の調整をする必要がありますので、恐れ入りますが直接議会事務局へお送り願います。

- 送付先：利尻富士町役場3F
利尻富士町議会事務局（議会議長）宛
- 直通電話：(0163)82-2512
- メール：gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp